

自己点検・自己評価報告書

本校は教職員による自己点検・評価を実施し、その結果についてこの報告書にまとめた。

2022年5月31日に学校関係者評価委員会を開催し、当自己点検・自己評価報告書について承認を受けた。

注：昨年度評価より点数の変更があった場合は赤字で表示している



学校法人翔陽学園
成田航空ビジネス専門学校

2022年5月23日作成

成田航空ビジネス専門学校

2022年5月23日

大項目	中項目	評価	総括・特記事項
基準1 教育理念・ 目的・ 育成人材像	理念・目的・育成人材像は定められている。	4.8	理念・目的と育成すべき人材像を学校理念として再整理し、分かりやすくかつ具体的に示し、教職員・学生に 周知し、定着を推進した。
	学校の特色はなに。	4.8	航空・ホテル・観光業界を担うことが出来る、自立し実践的な人材を育成する。 1人1人の個性を見極めて、考える力とコミュニケーション能力を育てるよう指導した。
	学校の将来構想を抱いている。	4.8	航空・ホテル・観光業界で活躍出来る実践的な人材を育てる事により、社会的に信頼される専門学校を目指す とともに、社会の進歩発展に貢献することを明示した。
	全体	4.8	
基準2 学校運営	事務管理費の効率的な支出を行う。	4.8	コストパフォーマンスに鑑み、引き続き、より効率的な予算執行を心がけた。 2階教室の老朽化した机及び椅子を更新した。同時に比較的程度の良い机及び椅子については 3階教室に移設することで、全面的な更新に繋がった。
	各種規程類の見直しおよび整備を行う。	4.8	関連法規の改正を踏まえて就業規則を中心に見直し、必要な改訂を行った。
	自己点検・自己評価の確実な実施と 第三者評価に対応した評価システムへのステップアップに対する準備	4.5	自己点検・自己評価は2013年度より継続して実施しており、ほぼ定着している。 昨年度より学校関係者評価委員会での審議を経て公開することとしたが、今後は分野別の第三者評価の体制および詳細内容を見ながら更に透明性の向上に努めたい。
	全体	4.7	
基準3 教育活動	事務処理の迅速化・効率化。業務スケジュールをスタッフ間で共有し、お互いにサポートできる体制とする。	4.5	コロナ禍により、例年になく対応を迫られることが続いたが、都度、迅速に情報共有を行いスムーズな運営を図った。
	英語力アップ。	4.0	引き続き英語を重点教科として力を注いできた。しかしながら、厳しい就職環境下においても積極的に取り組んで成果を上げる学生と、厳しさに潰されて成果を上げるに至らなかった学生とに二分してしまった。
	就職に役立つ各種検定・資格取得を積極的に受けるよう指導する。	4.0	コロナ禍の影響で、本来目標としていた航空・観光分野での採用が大きく縮小する中で、各種検定・資格取得試験を受験するインセンティブが乏しく、指導に苦労した。

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

成田航空ビジネス専門学校

2022年5月23日

大項目	中項目	評価	総括・特記事項
	授業内容を強化する。	4.6	<p>コロナ禍の状況に応じてオンライン授業を前提とする分散登校を実施するとともに、濃厚接触者となる学生に対しては適宜個別にオンライン受講とすることで、大きな支障なく学習活動を継続することができた。オンライン授業についても学生・教師共に習熟することで、教育品質も確保することができた。</p> <p>学生および担当講師による授業アンケートを例年通り実施し、担当講師による自己評価も合わせて実施することで授業品質の向上を図った。</p>
	カリキュラムの内容を、コースの目標を達成する為により実践的な内容にupdateする。	4.6	<p>グランドハンドリング研究講座については、座学と実技を充実させるとともに、GSEを使った実践的実習について基本手順を重視しつつ見極めと評価を導入することでレベルアップを図った。</p> <p>就活研究セミナーについて、就職試験対応を含む就職活動に役立つ実践的な知識・技能を身につけさせるよう更に改善を図った。</p>
	全体	4.3	
基準4 教育成果	資格取得率の向上が図られている。	4.0	コロナ禍の影響で、本来目標としていた航空・観光分野での採用が大きく縮小する中で、各種検定・資格取得試験を受験するインセンティブが乏しく、低調に終始した。
	退学率の低減が図られている。	4.0	退学者は5名(6.4%)と前年(10名、11.9%)から大幅に改善し、例年並みとなった。
	全体	4.0	
基準5 学生支援	「2021年度 年間計画表」に基づいて実施。	4.8	iPad/ICTを活用した教育指導が定着しており、オンライン授業の円滑な実施に功を奏しているが、更に有効に活用する事を目指した。
	より密度の高い学生支援の実施	4.8	3クラス編成を維持し、担任一人あたりの学生数を20名前後に抑えることで、よりきめの細かい学生指導・学生支援を実現した。
	就職率達成目標(100%)を目指す。	4.0	コロナ禍により航空業界の採用が激減し、多くの学生が希望職種を変更した。全体の約2/3が航空業界に内定したが、職種はAC、GH、空港保安が多かった。航空・ホテル以外の業種では、医療事務・美容系・飲食業等、就職先は多岐に渡った。希望分野への就職が叶わなかった学生が就職を先送りしたこともあり、就職内定率は96%に留まった。
	就職指導の効果的・効率的実施	4.0	新規分野・新規就職先も多く、加えて絞られた就職先に多くの希望者が集まったこともあって競争環境が厳しかったため、ES添削や面接指導の中で、個々人の長所や能力を引き出すことに努める必要があり、例年以上に就職指導への負荷が高かった。

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

成田航空ビジネス専門学校

2022年5月23日

大項目	中項目	評価	総括・特記事項
基準5 学生支援	クライアントの定期訪問と新規開拓の実施。	4.4	企業訪問は可能な時期に纏めて実施し、年間を通してメールや電話で頻繁に連絡を取り情報共有を行った。
	CA合格者	4.0	2021年度卒は1名がCAに採用された。
	全体	4.3	
基準6 教育環境	学校を取巻く環境の変化に伴う、学校施設（教室備品等）および、規則（利用、運用規則等）等の検討整備を行う。	4.7	2階教室の老朽化した机及び椅子を更新した。同時に比較的程度の良い机及び椅子については3階教室に移設することで、全面的な更新に繋がった。 科目別再履修を可能とするよう、学校卒業資格を年度履修時間終了基準から単位取得基準へと変更した。 学校内ICTを旧システム“Classi”から新システム“infoClipper”へ更新、移行したが、特に大きな混乱なく、スムーズに完了した。今後は運用の定着と利用機能の拡大を図る。
	全体	4.7	
基準7 学生募集と 受け入れ	専門学校の定員を確保する。	3.5	2022年度定員は100名×2学年の計200名であるが、新入生は51名に留まるとともに2年生は退学者の増加で67名に減少し、合計で118名となった。2021年度末からは航空・観光業界の求人も増えてきていることから、今後は意欲・学力の高い学生を集めていくように努める。
	オープンキャンパスは平日は随時受付、平日夜間・土曜にも開催し、生徒・ご父兄の利便を優先して柔軟に対応する。	3.5	コロナ禍によってオープンキャンパスを十分に実施することができなかった。しかしながら可能な範囲で工夫しながら実施するとともに、オンラインで積極的に対応した。
	高校内での学校説明会・留学生対象の説明会への参加	4.0	高校内説明会もコロナ禍により中止が相次いだ。一方で当校の高校訪問体制を強化し訪問担当校を分担・固定化したことで、訪問の頻度を上げ、先生との面識もでき信頼関係の強化につながった。
	紙媒体を減らし、ホームページ、SNSを活用する。	4.8	高校生が多く利用するSNS(特にInstagram)に新しい情報を随時投稿することで、フォロワーを増やすことに成功、当座の目標300人を突破した。
	学校訪問のプライオリティー付け。	4.5	対象校を過去の入学実績と期待値等で区別し、重点校を中心に対応した。
全体	4.1		
基準8 財務	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえる。	3.0	2021年度は、ICT更新および教室の机/椅子更新などの大きな支出が発生したが、学校法人ベースでは黒字を確保することができた。2022年度は在籍数の大幅な減少により赤字予算とせざるを得ないが、その額を縮小すべく工夫を重ねる。
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。	4.0	厳しい収支状況ではあるが、学校運営の品質には影響がないように配慮して年度予算を作成している。
	全体	3.5	

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

成田航空ビジネス専門学校

2022年5月23日

大項目	中項目	評価	総括・特記事項
基準9 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。	4.8	法令、設置基準に抵触する事例はなく、適正に運営した。
	個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。	4.7	個人情報を取り扱う部署に対する教育・指導を実施し、情報漏えいは発生しなかった。
	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めている。	4.8	各年度始めに事業計画を策定し、年度を通じて着実に施策を実施していくことにより課題の克服と改善に繋げている。2013年度より教職員による自己点検・自己評価を継続して実施し、2020年度よりは学校関係者評価委員会で審議頂くことで透明性と客観性の確保に努めている。
	自己点検・自己評価結果を公開している。	4.8	自己点検・自己評価の結果をホームページで公表している。
全体		4.8	
基準10 社会貢献	地域の行事に積極的に参加し、活性化に寄与すると共に学生に社会との関わりを認識させる。	3.0	コロナ禍で地元のお祭りなどの行事が軒並み中止となり、学生が参加する機会が得られなかった。
	英会話教室等を開設し、国際人を育てる事に貢献すると共に、企業等に対してもマナー教育、語学研修等を行い社会貢献している。	3.5	周辺地域の方々に認知されてきたことから会員数はこれまで増加傾向にあったが、コロナ禍影響から新規会員獲得が進まず、幼児・小学生会員の減少に歯止めがかからないため、更なる対策が必要である。 小学生対象の国語・算数クラス(セカンドクラス)を学年別に、国語2クラスで7名、算数3クラスで9名の参加で開講した。小学3年生～中学生を対象に、夏期講座として、英検・国語・算数・プログラミングを実施し、132名の参加があった。
	フォークリフト技能講習のための成田フォークリフト教習センターについて安定運用を図る。	4.8	フォローアップ営業等によりリピーター獲得に努めるとともに、新規講座の開設準備を進めた。 5月からの新規開講となったが、各方面への営業活動により年間169名と目標受講者を達成した。2022年度は約倍増の300名受講を目標とする。
全体		3.8	

評価 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない

自己評価における特記事項

自己評価は学校経営目標・運営実施目標に基づく業務実施計画書に年度達成目標が、どの程度達成されているかを分野別に抜粋したものです。

※別添資料1 専門学校学生数の推移

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
入学生	76	58	60	80	84	78	51
進級者	77	65	60	52	76	74	67
在籍数	153	123	120	132	160	152	118

復学者1名を含む

※別添資料2 2021年度卒業生就職先

CA	AIRDO	1		
			小計	1
GS	FMG	5	にしけい<空港保安>	6
	シンプティア	2	空港ターミナルサービス<空港案内>	1
	エコパートナーズ	2		
			小計	16
AC	JALカーゴサービス	3	阪急阪神ロジパートナーズ	3
	ANA Cargo	1	エムオーエアロジスティクス	3
	NCA Japan	1	空港協力事業	1
	IACT	2	羽田空港グローバルサービス	1
	日本トラフィックサービス	2	NAX JAPAN	1
			小計	18
GH	日本空港サービス	4	空港協力事業	1
	羽田空港サービス	2	東洋トラフィックサービス	1
	JALカーゴハンドリング	1	太平洋総業サービス	1
	ティエフケー	1		小計
HT	ウエスティンホテル東京	2	うかい亭<料飲>	1
	共立メンテナンス	2	リキッド<料飲>	1
	ラティソンホテル	2	JR東日本サービスクリエイション	1
	森ビルホスピタリティコーポレーション	1		
	リソルスホテルズ	1		小計
その他	ニチイ学館	1	アルビオンドレジャー	1
	総合警備保障	1	雅電設	1
	ミュージプラチナム	1	オハナ	1
	おがわ動物病院	1	MXモバイルリンク	1
	山新	1	Ibaraki BMW つくば支店	1
	ユナイテッド	1		小計
合 計				68

※ 進学 1名
卒業延期 2名

※別添資料3

資 格		2020年度生		2021年度生		
英語	TOEIC	700以上	8	11%	5	7%
		600-695	8	11%	2	3%
		500-595	5	7%	8	12%
		400-495	10	14%	10	15%
		395以下	13	18%	4	6%
英語	英検	1級	0	0%	0	0%
		準1級	5	7%	1	1%
		2級	34	46%	31	46%
		準2級	19	26%	28	42%
中国語	HSK	3級	3	4%	0	0%
		4級	1	1%	0	0%
韓国語	TOPIX	2級	2	3%	4	6%
		1級	0	0%	0	0%
日本語(留学生対象)		1級	2	3%	1	1%
PC	PCⅡ種	1級	0	0%	0	0%
		2級	7	9%	4	6%
		3級	5	7%	5	7%
	Amadeus	中級	2	3%	0	0%
初級		2	3%	7	10%	
サービス	サービス接遇検定準1級	1級	1	1%	0	0%
		2級	13	18%	6	9%
		3級	2	3%	0	0%
	ホテル実務 Basic 2級		1	1%	2	3%
	日赤救急法		0	0%	0	0%
	サービス介助士		8	11%	18	27%
IATA DIPLOMA		0	0%	0	0%	

※別添資料4

収益事業会員数(年度末実働数)

	2018	2019	2020	2021	2022
合計	555	499	467	451	
幼児	67	67	53	78	54
小学生	310	216	208	291	209
中・高生	87	143	138	69	115
成人	91	73	68		73